

昭和二十年度教員養成諸學校概況

一、師範學校ニ關スルコト
 學校數 五七 (昭和二十年度)

内 詳

男子部及女子部ヲ置クモノ 五三

男子部ノミヲ置クモノ 四

(北海道第二、新潟第二、
 東京第三、静岡第二)

5-7
1

9

2. 修業年限

男子部 本科三年 豫科二年

女子部 本科三年 豫科二年

女子部ニハ修業年限一年ノ専攻科ヲ置ク

昭和二十年度ニ卒業スベキ男子部本科生徒ノ修業年限ハ一般ノ專門學校ト同様ニ六月之ヲ短縮ス

昭和十九年度マデニ入學シタル女子部本科生徒ノ修業年限ハ二年トス専攻科ハ昭和二十一年度ヨリ廢止スル豫定ナリ

3. 生徒數

	男子	女子	計
本科	三、〇五五	一、三〇七	四、三六二
豫科	九、三六〇	四、九六〇	一、四、三二〇
専攻科		五、二〇〇	五、二〇〇
計	四、一、四一五	一、八、五五五	五、九、九七〇

豫科ノ生徒數ハ本科生徒數ノ約半數トシ又男女ノ割合ハ男二ニ對シ女一ノ割合ヲ保持スル方針ナリ

4. 生徒入學狀況

本科	募集數		應募數	同上割合
	昭和十九年	昭和二十年		
本科	男	五、七五〇	三、一七二	五〇・五
	女	四、三一九	一、七〇三	二〇・七
本科	男	二、三六九	一、一七九	四〇・七
	女	三、一二四	九八一	四〇・六

本科ノ募集員數ハ本科第一學年生徒數ノ約半數ヲ豫科ヨリ進級

セシメ他ノ約十數ヲ中等學校卒業者ヨリ募集スル方針ナリ
 本科ノ入學志願者ハ師範學校制度改善以來著シク増加シ本年度
 ノ如キハ男子部ニ在リテハ全國平均ニテ約五倍ノ應募者アリタ

昭和二十年本科募集員數ノ減ジタルハ豫科三年及豫科二年ノ生
 徒ヲ同時ニ本科ニ進學セシメタル爲ナリ

5. 卒業業者

昭和十九年度卒業業者

男子	昭和十九年九月卒業	七、二五二
女子	昭和二十年三月卒業	四、八二五
計		一、二、〇七七

4. 青年師範學校ニ關スルコト

4. 學校數 四八（昭和二十年度）

内 譯

男子部及女子部ヲ置クモノ	二九	内	獨立校舎ヲ有スルモノ	二五
			他ノ學校ニ併設ノモノ	四
男子部ノミヲ置クモノ	一九	内	獨立校舎ヲ有スルモノ	一三
			他ノ學校ニ併設ノモノ	六

青年師範學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ豫科ヲ置クコトヲ
 得ルモ現在豫科ヲ置ク學校ナシ

2. 修業年限

三年

昭和二十年度ニ卒業スベキ者ノ修業年限ハ一般ノ專門學校ト同様
 ニ六月之ヲ短縮ス

3. 生徒數

男子	六、八四七
内 譯	
農業科	五、九九二
工業科	五〇三

商業科 二八六
水産科 六六
女子 一、八八四

生徒募集状況

募集員數	應募者數	同上割
男子 二、九〇九	一、八八九	四・一
女子 一、一三三	二、九一一	二・六
計 四、〇四二	一、四八〇〇	三・七

青年學校ニ於ケル教員ノ需要ヲ充サンガ爲ニハ毎年約七五〇〇人ノ生徒ヲ募集セザルベカラザルモ現在ノ設備ニテハ右員數以上ノ生徒ヲ入學セシメ得ザル狀況ナルヲ以テ今後校舍ノ模様替、兵舎ノ轉用等ニ依リ收容力ノ擴張ヲ圖リ出來得ル限り増募スル必要アリ

一、中等學校ノ教員養成ニ關スルコト

中等學校教員ヲ養成スル學校左ノ如シ（昭和二十年年度）
 高等師範學校 四 内一校ハ昭和二十年年度新設
 女子高等師範學校 三 内一校ハ昭和二十年年度新設
 東京農業教育專門學校 一
 臨時教員養成所 一五 帝國大學、高等師範學校及直轄學校内ニ俱ク
 實業學校教員養成所 一五 直轄實業專門學校ニ附設ス
 女子實業學校教員養成所 一 同 右

二、現在生徒數（昭和十九年度）

	男子	女子	計
高等師範學校	三、一六〇	一、二四五	三、一六〇
女子高等師範學校		一、二四五	一、二四五
東京農業教育專門學校	二八二	二八二	二八二
臨時教員養成所	一、六一一	三六九	一、九八〇
實業學校教員養成所	一、四一八	四〇	一、四五八
計	六、四七一	一、六五四	八、一二五

3. 昭和十九年度卒業生就職状況

	高師	女高師	臨教	實教	體教	計
卒業生数	四五九	二二九	四一一	二三四	八九	一、四二二
右ノ内大學入學者數	五四	三	二三	一三	三	九六
陸軍技術見習士官及海軍豫備學生トナリタル者	一六九	一	二三	九二	四〇	五三五
入營シタル者	八	一	四	七	二	二一
病氣ノ爲就職猶豫者	七	七	五	二	二	二三
中等學校ニ就職シタル者	二二一	二一九	一四五	一一〇	四二	七四七

4. 中等學校教員需要供給、概況

教員總數 約八五、〇〇〇人
 毎年需要員數 一六、〇〇〇

丙 譯

退職死亡等ノ補充 約一〇、〇〇〇
 學級増加ニヨル 六、六〇〇
 毎年供給員數 一三、一〇〇

丙 譯

官立教員養成學校卒業者 八〇〇
 大學高等專門學校卒業者 九〇〇〇
 教員試験檢定合格者 八〇〇
 其ノ他ノ者 二、五〇〇

5. 中等教員ノ不足ノ狀況

支那事變勃發以來教員資格ヲ有スル大學高等專門學校卒業生ニシテ中等學校教員ニ就職スル者著シク減少シ又理數科關係ノ教員ニシテ工場事業場等ニ轉出スル者續出シ更ニ現役服役者及應召者モ

増加シタル爲之ガ補充トシテ無資格者ヲ多數採用セザルベカラザルノ止ムナキニ至リ終戦直前ニハ此ノ無資格者ヲモ得難キ爲約三千六百人ノ缺員アリシモノナリ
無資格教員増加状況

昭和十二年度	昭和十八年度	現役服役及應召者	缺員數増加状況
六三〇四六	八四二六二	四五六八	
一〇〇一六	一九五二八		
無資格教員數			
同上教員總數			
ニ對スル割合			
一五	二五		

昭和十二年度始 六八二
昭和十八年度始 三六二三
右ノ狀況ニ鑑ミ昭和二十年度ニ於テ教員ノ確保ヲ圖ル爲教員養成學校ノ増設及生徒増募ヲ實施シタリ
高等師範學校（理數科ノミノモノ） 一校増設 一四〇人募集

女子高等師範學校（理科、家政及體鍊） 一校増設 九〇人募集
實業學校教員養成所（機械、電氣、化學、水産） 二ヶ所増設 七〇人募集
實業學校教員養成所 生徒増募 一七〇人募集



中等學校教員檢定ニ關スルコト
中等學校教員ノ檢定ハ無試験檢定及試験檢定ニ依リ之ヲ行フ
無試験檢定ハ大學高等專門學校及文部大臣ノ許可シタル學校ノ卒業者竝ニ中等學校ニ於テ教育ニ從事シタル經歷ヲ有スル者ニ付臨時ニ之ヲ行フ
試験檢定ハ之ヲ分チテ豫備試験及本試験トシ毎年少クトモ一回之ヲ行フベキ規定ナルモ決戦非常措置要綱ニ基キ昭和十九年及昭和二十年度ニ於テハ之ヲ行ハザルコトトセリ
教育ニ關スル戰時非常措置方策ニ基キ教員ノ確保ヲ圖ル爲中等學校教員檢定ニ關スル臨時特例ヲ制定シテ現役以外ノ軍人及管テ軍人又ハ官吏タリシ者其ノ他學識徳望アル者ヲ教育者トシテ採用ス